

Action Book 2020

2020 年度 盛岡 YMCA 目的・方針

2020 年度 盛岡 YMCA 活動目標・計画

2020 年度盛岡 YMCA 目的・方針

I 基本聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマ信徒への手紙 12 章 15 節

「人にしてもらいたいと思うことはなんでもあなた方も人にしなさい。」

マタイによる福音書 7 章 12 節

II 目的・方針

1 目的

1) ポジティブネット※1のある豊かな地域社会を実現します。

2) 未来を担う子どもや若者を育てます。

YMCA は 1844 年、産業革命という社会が大きく転換する時期にイギリス、ロンドンで誕生しました。私たちは今、AI、量子コンピューター、バイオテクノロジー等、最先端の科学や医学の進歩を目の当たりにする一方、世界は環境破壊、紛争、格差や貧困、エネルギー問題、国内では少子高齢化、児童虐待やいじめなど数多くの課題が山積みし、YMCA が誕生した産業革命以来の大きな変革の時代に直面しています。

こうした中、日本の YMCA は 2017 年 10 月からブランディングを開始し、それぞれの YMCA が目指す共通のビジョンとして「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」を掲げました。「社会を構成する一人ひとりが心をひらき、分かち合い、前向きな姿勢で生きていける」そのような場や機会をそれぞれの YMCA が置かれた地域で提供していくことは、変化の大きな時代だからこそ、とても重要です。YMCA は、未来を担う若い世代に本当の意味での“生きる力”と“未来を創造していく力”を獲得してほしいと願っています。

盛岡 YMCA はこのことを受けて 2018 年度からポジティブネットのある地域社会の実現を目的とした事業方針・計画を定め、さまざまな活動を展開してきました。2020 年度もこれまでの評価、反省にもとづき、盛岡市にならびにその周辺の地域においてポジティブネットのある豊かな地域社会を実現するため、未来を担う子どもや若者を育てます。

※1 「誰かの個性を認める。そして自分の個性を認めてもらう。互いを認め合い、尊重する関係のなかで、「個」が創られていくのではないのでしょうか。

互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク、それを YMCA は「ポジティブネット」と名付けました。課題の多い社会の中で、社会保障的な役割を持ったセーフティーネットが機能するよりもっと早い段階から、「ポジティブネット」は、社会に希望をもたらし、新たな豊かさを提供していきます。

それは、「思いやる」「支える」「助ける」といった一方的なものでは決してありません。お互いが助け合うことで、そこには新しいエネルギーが生まれます。そして困った時には、助けてほしいと素直に言える相互的なつながりです。そんな誰もが生きやすい、希望ある豊かな社会を創造するためのネットワークを日本の YMCA は形にしていきます。

「ポジティブネット」は、生きるためのひとつの選択肢。YMCA は、公共性の高さに加えて、誰も真似できないこの「ポジティブネット」をグローバルなネットワーク基盤を活かしてつくる可能性を持っているのです。

ひとりが「よくなる」と、社会や世界はきっと変わっていくはずだから。「ポジティブネット」は、人と人とを強くつなげていくはずだから。
～「YMCA BRAND BOOK」(2017.6.17 日本 YMCA 同盟発行)～

2 方針

この目的を実現に近づけるため、2020 年度は組織の強化、提供するプログラムの内容の充実に重点をおきます。新拠点の進出については、2021 年度の課題とし、今年度は主に内部体制の強化と中期計画の策定も含めた、今後の盛岡 YMCA の将来構想を構築する 1 年とします。

組織の強化については、諸規定、制度の設計、職員の資質の向上並びに働き方改革、会則の検討をおこなっていきます。また、YMCA が地域に提供するプログラムにおいては、単に対価に見合うサービスにとどまらず、プラスアルファの価値を参加者に提供するため、プログラム一つ一つに意図とこだわりをもって取り組んでいきます。そのためには、キャラクター・ディベロップメント・運動※2を全プログラムに導入します。また、盛岡市内 4 カ所で開催する、放課後児童クラブ「ぷらいむ・たいむ」において、YMCA 伴走サポート※3を 9 月より開始します。

※2 全国の YMCA において展開しているキャンペーン。「キャラクター」とは「人格」、「ディベロップメント」は「向上」を意味します。人格形成に必要とされる価値は様々ですが、その中でも YMCA は、「CARING (思いやり)」「HONESTY (誠実さ)」「RESPONSIBILITY (責任感)」「RESPECT (尊敬心)」という 4 つの価値を掲げ、YMCA のあらゆる活動を通してこれら 4 つの価値を伝えていきます。

YMCA に関わる全ての人、子どもたちにとって、また全ての人にとっての良きモデルとなり、人格の中にこの 4 つの価値が生涯にわたって大切な価値として育まれていくこと、そして一人ひとりが自分を大切に思う気持ち、それと同時に自分以外の人、物、自然などに関心を持って自分のことのように全てを大切にできる人格を育てることを目指します。

※3 YMCA 伴走サポートは、ひとりの子ども、ひとつの家庭に寄り添いながら、一貫して子育てと子育てを応援する全国の YMCA で導入を進めているオリジナルプログラムです。その子に合った成長を長い目で見守りながら、日々の体験で得られたエピソードを記録し、保護者やご家庭の方への個別面談を通じて定期的にフィードバックします。

2020 年度盛岡 YMCA 活動目標

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな地域社会の実現のため以下3つの目標を掲げます。

目標 1 したい何かがみつき、誰かとつながる。 私がよく、かけがえの無い場所※4を提供します。

計画 1 YMCA 経験者を増やします。

- 1) 盛岡 YMCA のプログラムに関心を持ちプログラムに参加する人を増やします。
- 2) YMCA 運動に賛同しボランティアとして参加する人を増やします。
- 3) YMCA 運動に賛同し寄付する人を増やします。
- 4) 盛岡 YMCA の活動を理解し、協働する地域の団体を増やします。

計画 2 YMCA が提供するプログラムの内容の充実を図り、参加者に満足と感動を与えます。

- 1) キャラクター・ディベロップメント運動を日々の活動の中で推進します。



- 2) YMCA 伴走サポートを開始します。
- 3) PDCA サイクルを回し、プログラムの内容充実を図ります。
- 4) 各施設の整理整頓並びに環境美化を図ります。

計画 3 新たなプログラムを実施します。また新拠点、新規プログラムを開発するための調査、準備を行います。

- 1) 長期休暇を利用したサマー、ウインター、スプリングスクールを開校します。
- 2) 放課後児童クラブの新拠点開校の可能性を調査します。
- 3) 放課後等デイサービスの可能性を調査します。

※4 「みつかる。つながる。よくなっていく。」YMCA が YMCA に関わる一人ひとりや地域社会に提供を約束する価値。

目標 II 盛岡 YMCA に集う一人ひとりが生き生きと誇りを持ってポジティブネットのある豊かな地域社会の実現に取り組んでいける仕組みと環境を整えます。

計画 1 職員が生き生きと誇りを持ってポジティブネットのある豊かな地域社会の実現に取り組んでいけるようにします。

- 1) 盛岡 YMCA で働く一人ひとりが「心をひらき、分かち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。」ことができるよう、具体的な人材指標を作成します。
- 2) 盛岡 YMCA が行う各事業、プログラム、プロジェクトの構成メンバーが協議してそれぞれの目標、アクションプラン、スケジュールを作成し、4 半期毎に達成状況を評価・報告します。
- 3) 工作上発生する課題の解決、提供するサービスの向上にチームとして取り組めるようにするため「会の持ち方、活かし方」を工夫し、職場のコミュニケーションを円滑にします。
- 4) 段取りを重視し、計画的に仕事を進めていけるようにします。パソコン、SNS を効果的に活用し事務の軽減を図ります。
- 5) 一人がひとつの業務にとどまることなく、事業所（センター）を超えて横断的に盛岡 YMCA の運動に関われるようにします

計画 2 YMCA に集うボランティアが「みつかる。つながる。よくなっていく」体験ができるような場と機会を提供します。

- 1) ボランティアが気軽に参加し、楽しめる場を提供します。
- 2) ボランティアが安心して活動に参加できるように、体系的なトレーニングを行います。
- 3) ボランティアがプログラムの企画・立案・準備・実施・ふりかえりといった一連のプロセスの中で自由に自分の考えを述べることができ、自らの長所を活かして主体的に関わっていけるようにします。
- 4) ボランティアが YMCA の活動に参画する中で他者と出会うことによって自分に必要

なものを学びとり、他者と自分が違うことを確かめながら共に助け合い、自らの生き方を学んでいく機会を提供します。

計画3 盛岡YMCAの組織を強化し、ボランティア、職員、役員が目標Ⅰ、Ⅱに効果的に取り組んでいけるようにします。

- 1) ポジティブネットのある社会の実現のため、ボランティア、職員、理事・常議員に共通する役割、それぞれ固有の役割を明確にし、協働して運動を進めていけるようにします。
- 2) 目標達成に向けて、それぞれの部門、あるいはプロジェクトにおいて、それに関わるボランティア、職員が有効なコミュニケーションを通して最適な方法を選択し、実行していけるようにします。
- 3) 盛岡YMCAの会則を他のYMCAの状況も含めて比較検討します。また諸制度の設計を行います。
- 4) 計画的で有効な仕事の進め方を推進します。
- 5) 認定NPO法人を取得します。
- 6) 中期計画を策定します。

目標Ⅲ 地域の課題を調査し、課題の解決に向けて具体的な取り組みを進めていきます。

計画1 障がいのある人もない人もすべての人たちが共に幸せに生きていくための理解と共感を広げるため、第4回盛岡YMCA国際チャリティラン2020を開催します。

計画2 地域の中学、高校生の抱える課題を調査し、中高生を対象に「みつかる。つながる。よくなっていく。」プログラムを開発し、実行します。

計画3 世界120カ国の国と地域にある国際的なネットワークを活かしたYMCAの国際協力活動への積極的な参画を通して、地域の子どもや若者の国際理解を深めます。

計画4 カナダの2人の高校生の行動をきっかけに世界70カ国以上に広がっているピンクシャツデーの運動を地域の団体と協働して広めていきます。

計画5 YMCAのプログラムに経済的理由により、参加したくともできない子どもたち(青少年)に対して費用の一部または全部を募金により援助する基金を創設します。